

全国教育研究所連盟研究発表大会

50本以上の研究成果を発表

—福島で研究大会開催—

主催

全国教育研究所連盟  
東北地区教育研究所連盟  
国立教育研究所  
福島県教育センター  
福島県教育委員会  
福島市教育委員会



研究発表大会、開会式

全国教育研究所連盟（委員長 鈴木勲 国立教育研究所長）には、各都道府県の教育研究所や教育センターなど二百二十五機関が加盟しています。毎年、全国七地区持ち回りの会場で総会を開き、研究発表大会を開催しています。本年は東北地区の番で本県が会場となりました。

全国教育研究所連盟の共同研究事業は、研究の規模においても、内容においても、日本を代表する高い水準のものであります。また、各加盟機関独自の研究も、今日的課題をふまえ先導的なものです。

今回の福島大会には、来賓として佐藤昌志福島県教育長、箭内洪一郎福島市教育長をお迎えし、全国から三百余

名の会員が参加しました。

一、共同研究報告の概要

全国教育研究所連盟の共同研究は、後述の「生徒指導」のほか、「学習到達度・進路選択」や「CAIプロジェクト研究」などがあります。

今回発表された「生徒指導の推進に関する総合的な研究」は、その最終報告で、全国の小・中・高校教員約一万五千人を対象として調査研究したものです。「校内暴力」は減少するが、「女子非行」「性非行」「社会性欠如」「無気力」「学業不振」「小学生非行」などは増加すると予測していることが明らかにされ、授業中の「おしゃべり」や「ぼんやり」も浮き彫りにされました。

二、分科会発表の概要

■第一分科会 教育一般

- 教職員研修 ○進路職業選択
- 授業研究 ○子どもの将来
- 研究研修一体化 ○生き方の教育
- 親と子の「夢」 ○成人学習活動
- 精神薄弱児の学習

研修への期待は、高年齢層へ進むにしたがって徐々に減少していることや、エレクトロニクスの驚異的な発展に対応する人間的な生き方の再認識が必要

になってきたことなどが発表され、子どもの「夢」と親の「夢」の相関について研究協議がなされました。

■第二分科会 学校経営・情報処理

- 学校経営と活力 ○理解と学習歴史
- 学級と存在感 ○学習用ソフト
- 教職活動 ○CAIの利用
- 校内研修 ○情報ベース
- 教育目標の具現

学校教育目標の具現化をめざす校内研修や、生徒の理解状態と学習履歴に関わる基礎研究などが発表され、技術・技能教育に取り入れた学習用ソフトウェアの開発について研究協議などがなされました。

■第三分科会 学習指導 I

- 文学学習達成感 ○少年数学級
- 作文教育 ○造形の構想力
- 文法能力 ○経営ゲーム
- 子どもを知る ○英語関心評価
- 授業分析

認識の発達に応じて、誤文、不整文不適文が生じやすいため、「経営ゲーム」を展開させた商業教材の開発などが発表され、VTR・コンピュータを利用して行動推移図の授業分析について研究協議がなされました。当教育センターからは、中学校英語